

柱 2-1-(2)-イ 指定管理者制度の活用

元年度目標の達成状況

目標	元年度実績	元年度目標の評価
<p>30年度 土地活用等評価委員会での意見を踏まえ、サービス向上の視点から、評価方法等に関わる内容について検討結果を取りまとめる。</p> <p>元年度 30年度に取りまとめた検討結果について、評価方法等が有効に機能するか検証等を行ったうえで、ガイドラインの改正を行う。</p>	<p>評価方法等の改善について、土地活用等評価委員会の審議を経て、より適切な制度設計・運用が可能となるようガイドライン等を改正。</p>	<p>達成</p>

元年度取組の実施状況

元年度の取組内容	元年度の主な取組実績
<p>①土地活用等評価委員会を活用したマネジメントサイクルの確立</p> <p>・評価方法等の改善に向けて、土地活用等評価委員会の審議における意見も踏まえながら、より適切な制度設計・運用が可能となるように検討を行い、評価方法等が有効に機能するか検証等を行ったうえで、ガイドラインの改正を行う。</p>	<p>・評価方法等の改善に向けて、関係所属に評価内容の調査を行った。</p> <p>・関係所属への調査の取りまとめ結果を基に、より適切な制度設計・運用が可能となるよう検証等を行い、土地活用等評価委員会の審議における意見も踏まえたうえで、ガイドライン等の改正を行った。</p>

取組期間の成果

<ul style="list-style-type: none"> ・28年度に新設された土地活用等評価委員会における外部有識者からの意見を踏まえ、PDCAサイクルを確立させながら、各年度の課題に応じて、より適切な制度設計・運用が可能となるようガイドライン等の改正を進めた。 ・指定管理者制度導入適否の確認にかかる他都市状況調査を実施するとともに、大阪市における公の施設の調査結果を取りまとめ、指定管理者制度の導入の適否及び障壁等の確認を行った結果、特段の障壁等はなく、施設の特長や特有の事情などから各所属が指定管理者制度導入を判断していることが確認できた。
--

今後の方向性

<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインに沿って土地活用等評価委員会を活用したPDCAサイクルのもと、適正に指定管理者制度の運用を図っていく。
--